学校番号	415

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「地理総合」（実教出版） 「標準高等地図－地図でよむ現代社会－」（帝国書院）						
副教材等	プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現代の世界の地理的事象を系統的に学習する。歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、国際社会を生きる力を身に付ける。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解する。
・地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
【思考力・判断力・表現力等】
・地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する。
・地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
・地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。
・多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	現代世界を地理的に認識することについて、系統地理学的に捉える視点や考察方法を理解し、その知識を身につけている。又、現代世界を地理的に認識するために、諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択、活用することを通して、読み取ることや、まとめる技能を身につけている。	現代世界を地理的に認識することについて、そこから課題を見いだし、多面的・多角的に考察し、その過程や判断した結果を適切に表現している。	現代世界を地理的に認識することについて、関心と課題意識を高め、それを意識的に追求する態度を身につける努力をしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	地図や地理情報システムでとらえる現代世界	1球面と平面 2緯度と経度 3日常生活のなかの地図 4国家の領域と日本 5国家間の結び付き 6モノ・人・情報のグローバル化 7世界の交通、物流と日本 8観光のグローバル化	a:現代世界の地域構成を示した様々な地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解している。 日常生活の中で見られる様々な地図の読図などを基に、日本地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。 現代世界の様々な地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。 b:現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現している。 地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現している。	定期考査	定期考査	提出状況 課題評価 発表評価

			c:世界や地域の諸事象について、地図や地理情報システムを用いて課題を主体的に追究し、多面的・多角的な考察を通して意欲的に課題を解決しようとしている。 　現代世界の国家間や様々な地域間の結び付きについての課題意識を主体的に持ち、それらの課題解決のために多面的・多角的な考察を意欲的に行いながら追究しようとしている。			
2学期	生活文化の多様性と国際理解	1 山地における人々の生活 2 平野に展開する人々の生活 3 海岸地形と人々の生活 4 熱帯の気候と生活とのかかわり 5 乾燥帯の気候と生活とのかかわり 6 温帯の気候と生活とのかかわり 7 亜寒帯・寒帯の気候と生活とのかかわり 8 東アジア 9 南・西アジア 10 ヨーロッパ 11 北アメリカ	a:世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。又、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 b:世界の人々の特色ある生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:世界の人々の特色ある生活文化と様々な地理的環境との関連性を把握したうえで、そこから見いだされる生活文化の課題について主体的に追究し、その解決策を意欲的に考察・構想しようとしている。	定期考査	定期考査	提出状況 課題評価 発表評価

	地球的課題と国際協力	1 人口問題の展開と対策 2 アンバランスな人口分布 3 食料問題の要因と解決に向けた課題 4 都市・居住問題 5 エネルギー資源の開発と限界 6地球温暖化への対策と再生可能エネルギー 7様々な場所で発生する地球環境問題 12様々な場所で発生する地球環境問題 13 地球的課題の解決に向けた国際協力	a:世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解している。又、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であることについて理解している。 b:世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:地球的諸課題の解決を目指す様々な主体の取り組みへの興味関心を持つとともに、そうした諸課題を国際社会の一員として主体的にとらえ、自分事として落とし込みながら意欲的に解決のあり方を考察・構想しようとしている。	定期考査	定期考査	提出状況 課題評価 発表評価

3学期	自然災害と防災	1 地震にともなう災害 2 地震にともなう災害への対策 3 火山災害と対策 4 さまざまな気象災害 5 さまざまな気象災害への対策	a:我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解している。 様々な自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技能を身に付けている。 b:地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:自然災害や防災・減災への興味関心を強く持つとともに、自分の住む地域で生じうる自然災害について主体的に追究し、平常時または災害発生時における具体的な備えや取り組み、対応のあり方について積極的に考察・構想しようとしている。	定期考査	定期考査	提出状況 課題評価 発表評価

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度